

Alibaba Cloud **云服#器** ECS

価格

Document Version20191120

目次

1 料金の概要.....	1
2 課金方法の比較.....	3
3 サブスクリプション.....	6
4 従量課金.....	10
5 停止した VPC インスタンスを無課金にする.....	18
6 インスタンスの更新.....	22
6.1 更新の概要.....	22
6.2 手動更新.....	22
6.3 自動更新.....	25
6.4 設定をダウングレードして更新.....	27
7 従量課金からサブスクリプションへの課金方法の切り替え.....	29
8 インターネット帯域幅の課金.....	32
9 リザーブドインスタンスの請求.....	34
10 サブスクリプション支払いのキャンセルに関する規則.....	36

1 料金の概要

本ドキュメントでは、課金される ECS リソースとそれに対応する請求方法について説明します。

料金

ECS リソースの料金については、[料金ページ](#)をご参照ください。

請求対象の ECS リソース

次のタイプの **Alibaba Cloud** リソースが請求対象となります。

- ・ インスタンスのタイプ、イメージ、およびクラウドディスク

これらのリソースの料金は、選択した請求方法に従って設定されます。請求方法の比較は、[課金方法の比較](#)をご参照ください。

- インスタンスタイプ：インスタンスタイプによって、vCPU コアの数とメモリのサイズが決まります。
- イメージ

タイプ	料金
パブリックイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows Server OS、Red Hat イメージにのみ料金が発生します。 ■ Linux、または Unix 系の OS イメージは無料で提供されています。
カスタムイメージと共有イメージ	それらが Alibaba Cloud Marketplace からのイメージを使用して作成された場合、料金は独立系ソフトウェアベンダ (ISV) によって決定されます。
マーケットプレイスイメージ	料金は ISV によって決定されます。

- クラウドディスク
 - ECS インスタンスと共に作成されたクラウドディスクは、ECS インスタンスと同じ請求方法を使用します。
 - [ECS コンソール](#)を通じて個別に作成されたクラウドディスクは、[従量課金](#)に従って請求されます。そのようなクラウドディスクを従量課金インスタンスに接続すると、その請求方法をサブスクリプションに変更して、ライフサイクルをインスタンスと同期させる

ことができます。詳細は、[従量課金からサブスクリプションへの切り替え](#)、及び[インスタンスの構成のアップグレード](#)をご参照ください。

■ サブスクリプションインスタンス用に作成されたクラウドディスクは、[サブスクリプション](#)に従って請求され、インスタンスと同じライフサイクルを持ちます。

- ・ パブリックネットワーク帯域幅：パブリック IP アドレスを作成またはアップグレードするときにパブリック IP アドレスが ECS インスタンスに割り当てられている場合は、パブリックネットワーク帯域幅を支払う必要があります。詳細は、[ネットワーク帯域幅の購入](#)をご参照ください。



注：

VPC 接続の ECS インスタンスは、**Elastic IP (EIP)** アドレスをアタッチするとインターネットにアクセスできます。詳細は、[EIP の課金](#)をご参照ください。

- ・ スナップショット：現在、スナップショットは無料で提供されています。

2 課金方法の比較

ここでは、ECS インスタンスの料金、課金方法、および支払い方法を解説します。

料金

ECS インスタンスの料金は、以下の内容に応じて異なります。

- ・ インスタンスタイプ。メモリー容量および CPU コア数を含みます。
- ・ リージョン: 同一のインスタンスタイプでもリージョンにより料金は異なります。
- ・ イメージ: 同一リージョンの同一インスタンスタイプについて、**Windows** イメージは、**Linux** または **UNIX** イメージより高い料金となります。**Microsoft** により **Windows** イメージへ追加のライセンス料金が請求されるためです。

詳しくは、「[料金](#)」をご参照ください。

課金方法

現在、ECS インスタンスは 2 つの課金方法に対応しています。

- ・ サブスクリプション

前払い方法の場合、支払い後にインスタンスを使用できます。インスタンスの利用は、月単位を基本に課金されます。課金単位は "USD/月" となります。サブスクリプションは、**Web** サービスなどの **24時間**、**週7日**に固定されたサービスに適用できます。詳しくは、「[サブスクリプション](#)」をご参照ください。

- ・ 従量課金

後払い方法は、インスタンスの使用後に支払いができます。インスタンスの使用は、分単位で課金され、課金単位は "US\$/時" です。ECS インスタンスのライフサイクルの最小料金は、**0.01USD** です。従量課金は、急なトラフィックスパイクが起こるようなシナリオ、一時スケーリング、中間テストおよび科学計算などのシナリオに適用できます。詳しくは、「[従量課金](#)」をご参照ください。

機能

ECS インスタンスの機能は、課金方法に応じて異なります。サブスクリプションおよび従量課金請求の違いは、以下の表のようになります。

機能	サブスクリプション	従量課金
更新	対応しています。お使いのインスタンスに関する「 手動更新 」、「 自動更新の有効化 」または「 ダウングレード 」が行えます。	対応していません。
随時インスタンスのリリース	対応していません。インスタンスの期限切れ後、適切な時期に更新されない場合、インスタンスは自動的にリリースされます。	対応しています。インスタンスが必要なくなった場合、すぐに「 インスタンスのリリース 」を行います。行わない場合、インスタンスが停止され、サービスが利用できなくなるまで課金され、料金滞納により自動的にリリースされます。「 停止したインスタンス (VPC 接続) への無課金 」とする機能を有効化できます。
インスタンス仕様の変更	対応しています。詳しくは、「 設定変更の概要 」をご参照ください。	対応しています。
帯域幅のアップグレード	対応しています。詳しくは、「 設定変更の概要 」をご参照ください。	対応しています。
課金方法の変更	対応していません。	対応しています。従量課金からサブスクリプションへの切り替えができます。詳しくは、「 従量課金からサブスクリプションへの切り替え 」をご参照ください。
中国本土内のリージョンにおけるインスタンスへの ICP 申請	対応しています。	対応していません。
API を使用したインスタンスの作成	対応しています。	対応しています。

支払い方法

ECS インスタンスの支払いの方法は、課金方法により異なります。

現在、クレジットカード、または、インスタンスへの支払いクーポンが利用できます。ECS インスタンスの購入前に、ご利用の **Alibaba Cloud** アカウントにクレジットカードアカウントを追加する必要があります。



注：

- ・ 追加の手順について詳しくは、「[アカウントの設定](#)」をご参照ください。
- ・ 中国本土内のリージョンにおける ECS インスタンスの購入は、実名登録が必要です。実名登録について詳しくは、「[中国本土 ECS の購入に関する実名登録](#)」をご参照ください。
- ・ サブスクリプションは前払い課金方法です。そのため、クレジットカード、クーポンによる支払いに対応しています。課金ルールについて詳しくは、「[サブスクリプション](#)」をご参照ください。

サブスクリプションインスタンスの課金記録の参照には、ECS コンソールにログインし、[課金管理] > [課金] > [サブスクリプション] をクリックします。

- ・ 従量課金請求方法により、はじめにインスタンスを使用し、その後に使用したリソースに関する支払いをすることができます。クレジットカードまたはクーポンによる支払いに対応しています。課金ルールについて詳しくは、「[従量課金](#)」をご参照ください。

従量課金インスタンスの課金記録の参照には、ECS コンソールにログインし、[課金管理] > [課金] > [従量課金] をクリックします。

3 サブスクリプション

サブスクリプション課金方法では、支払った分のリソースのみ使用できます。

適用可能なリソース

サブスクリプションベースの課金は、以下の ECS リソースに適用できます。

- ・ CPU 設定とメモリ容量を含む ECS インスタンス
- ・ イメージ
- ・ システムディスクとデータディスク

サブスクリプション ECS インスタンスを作成する場合、ページの左下に表示される合計料金には、前述のリソースの料金が含まれています。

ECS *TCO Calculator* を使用すると、クラウド移行コストをすばやく分析できます。

支払い方法

以下のいずれかの方法で、サブスクリプションリソースを支払うことができます。

- ・ ご利用の **Alibaba Cloud** アカウントに関連付けられているクレジットカード。詳細は、「[支払い方法の追加](#)」をご参照ください (『アカウント管理』)。
- ・ サブスクリプションリソースの支払いに使用できるクーポン。



注:

ECS コンソールにログインし、[料金・支払い管理] > [クーポン管理]を選択して、[適用する支払いタイプ]で、サブスクリプションリソースに適用されるクーポンかどうかを確認します。

課金サイクル

サブスクリプションリソースは月単位で課金されます。課金サイクルは **UTC+8:00** に基づいています。課金サイクルは、リソースが有効化された時刻から始まり、**1** か月後または **1** 年後の翌日の **00:00:00** に終了します (選択した課金サイクルによって異なります)。

たとえば、**2017** 年 **3** 月 **12** 日 **13:23:56** に月単位のサブスクリプション ECS インスタンスを有効化した場合、最初の課金サイクルは **2017** 年 **4** 月 **13** 日 **00:00:00** に終了します。

料金単位は、リソースによって異なります。次の表に、使用可能なリソースの料金単位を示します。

リソース	料金単位
ECS インスタンス	円/月
イメージ	円/月
システムディスク	円/(GiB x 月)
データディスク	円/(GiB x 月)

課金サイクルの有効期限が切れた後、引き続きリソースを使用するには、ECS インスタンスを更新します。詳細は、「[手動更新](#)」または「[自動更新](#)」をご参照ください。

有効期限後のリソースのステータス変更

所定の期間内にインスタンスを更新しないと、インスタンスに対応するリソースのステータスは次のように変わります。

期間	ECS インスタンスとイメージ	システムディスク	データディスク	インターネット IP アドレス	スナップショット
有効期限後 15 日以内	ECS インスタンスとイメージは正常に動作します*。	システムディスクは正常に動作します。	データディスクは正常に動作します。	インターネット IP アドレスは影響を受けません。	スナップショットは影響を受けません。

期間	ECS インスタンスとイメージ	システムディスク	データディスク	インターネット IP アドレス	スナップショット
有効期限後 15 日以降	<p>インスタンスは、有効期限後 15 日目の 00:00:00 から翌日 00:00:00 までの 24 時間内の任意の時点で利用不可になります。その後、イメージは無効になります。</p>	<p>システムディスクは利用不可になりますが、データは保持されます。</p>	<p>データディスクは利用不可になりますが、データは保持されます。</p>	<p>クラシック ネットワーク インスタンスの場合、割り当てられたインターネット IP アドレスは保持されません。</p> <p>VPC インスタンスの場合、割り当てられたインターネット IP アドレスと、アタッチされた EIP アドレスは保持されます。</p>	<p>スナップショットは影響を受けません。</p>

期間	ECS インスタンスとイメージ	システムディスク	データディスク	インターネット IP アドレス	スナップショット
有効期限後 30 日以降	ECS インスタンスとイメージは自動的にリリースされます。	システムディスクはインスタンスと共にリリースされます。データは復元できません。	デフォルトでは、クラウドディスクはインスタンスと共にリリースされます。クラウドディスクをインスタンスと共にリリースしないように設定した場合、クラウドディスクは動作を停止します。 ローカルディスクはインスタンスと共にリリースされます。 共有ブロックストレージは自動的にデタッチされます。	クラシックネットワークインスタンスの場合、割り当てられたインターネット IP アドレスはリリースされます。 VPC インスタンスの場合、割り当てられたインターネット IP アドレスはリリースされ、アタッチされた EIP アドレスは自動的にデタッチされます。	自動スナップショットは自動的に削除されますが、手動で作成したスナップショットは影響を受けません。

* インスタンスが正常に動作している場合、ECS コンソールの管理ターミナルを使用して、インスタンスの開始または停止、インスタンスへの接続が可能です。

** インスタンスが利用不可になると、リモートでインスタンスに接続できず、インスタンスにデプロイされた Web サイトにアクセスできません。サービスエラーが発生します。

4 従量課金

従量課金方法では、実際に使用したリソース量に応じて料金が請求されます。従量課金により、いつでも要件を満たすためにリソースを有効化したりリリースしたりすることができます。要求に応じてリソースを購入でき、ビジネスの成長に合わせてスケールアップできます。時には多くのリソースを無駄にすることもある従来のホストへの投資に比べ、**30%** から **80%** までコストを削減することができます。

適用できるリソース

現在、従量課金方法は、以下の ECS リソースに適用できます。

- CPU 設定とメモリ容量を含む ECS インスタンス
- イメージ
- システムディスクまたはデータディスク

従量課金請求方法により ECS インスタンスを作成する場合、インスタンス作成ページの下に表示される [インスタンスコスト] は上記の 3 つのタイプのリソースの合計料金です。

従量課金リソースを有効化後、以下の変更を行うことができます。

- リソース設定の変更

インスタンス作成後、CPU の設定およびメモリ容量を含む、インスタンスタイプを変更できます。詳しくは、[#unique_12](#)をご参照ください。

- 課金方法の変更

インスタンス、システムディスクおよびデータディスクは、従量課金請求からサブスクリプション課金へ切り替えができます。詳しくは、[従量課金からサブスクリプションへの課金方法の切り替え](#)をご参照ください。

支払い方法

ご利用の Alibaba Cloud アカウントに使われているクレジットカードを利用し、従量課金リソースの支払いができます。詳しくは、「[支払い方法の追加](#)」をご参照ください。

課金期間

従量課金リソースは、作成後 1 時間ごとに課金され、リリース後に課金が停止されます。

VPC インスタンスは、[停止済みのインスタンスの無課金課金機能](#)を有効化できます。この機能を有効になっている場合、VPC インスタンスのステータスが [Stopped] ステータスであれ

ば、VPC インスタンスへ課金されません。この機能はインスタンスに対してのみ利用でき、他の ECS リソースに対しては利用できません。

課金サイクルは、リソースタイプによって異なります。ECS インスタンスのライフサイクル (作成からリリースまで) の最低料金は JPY 0.01 です。

項目	インスタンス + イメージ	システムディスク	データディスク
課金サイクル	1 時間	1 時間	1 時間
料金単位	JPY/時間	JPY/(GiB * 時間)	JPY/(GiB * 時間)

決済サイクル

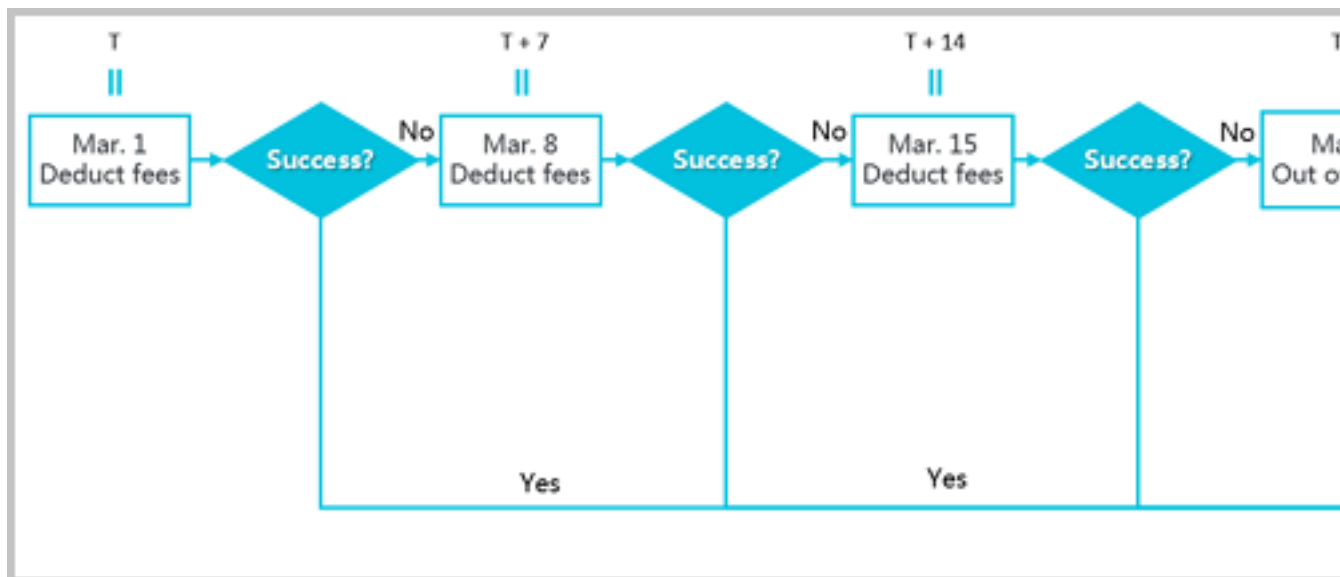
従量課金リソースは 1 時間ごとに課金および決済されます。以下のことを注意してください。

- ・ 従量課金リソースの支払いは、使用後に、ご利用のアカウントに課金されている他のプロダクトと合わせて決済されます。
- ・ 一般的に、ご利用のアカウントの従量課金累積額は、翌月の初日に料金が差し引かれます。

- ・ **Alibaba Cloud** とクォータ契約を結んでいる場合、ご利用のアカウントの累積消費額がクォータを超えた場合に料金が差し引かれます。

累積消費量	期限日 (T)	課金日	説明
月間累積消費額が一定未満	翌月の初日	T、T+7 および T+14	<ul style="list-style-type: none"> - 期限日 (T) に引き落としエラーになった場合、T+7 日、T+14 日にシステムにより再度料金の差し引きが試みられます。 - 料金の差し引きが 3 度失敗した場合、インスタンスは T+15 日にサービスが停止されます。この場合、ECS インスタンスは停止しますが、データは保持されます。インスタンスがサービス停止になった場合、課金は停止します。 - お使いのインスタンスがサービス停止になった場合、料金滞納を解消するため、チケットを起票し、サポートセンターへお問い合わせください。料金滞納が解消された後、T+30 日より前に インスタンスを再有効化 する必要があります。再有効化しない場合、インスタンスは自動的にリリースされます。 - T+30 日までに料金滞納が解消されなかった場合、インスタンスはリリースされ、データは復旧できません。
契約したクォータ	クォータを超えた日		

- ・ 例: 従量課金 ECS インスタンスの決済処理は、以下のフローチャートのようにになります。支払期限を 3 月 1 日仮定します。



決済に関する解説

- ・ 決済方法
 - ECS インスタンスの場合: 有効期間は、ECS インスタンスが正常に実行されている時間で、ECS インスタンスが有効化されたときから、リリースされるか期限切れまでの時間です。料金滞納により有効期間中にインスタンスがサービス停止になった場合、料金滞納が解消されるまで課金は停止されます。
 - システムディスクまたはデータディスクの場合: 有効期間は、ディスクが正常に実行されている時間で、ディスクが有効化されたときから、リリースされるまでの時間です。
- ・ リリースルール
 - ECS インスタンスの支払いが期限超過の場合、従量課金クラウドディスクの使用が制限され、クラウドディスクは I/O 読み取りリクエストおよび I/O 書き込みリクエストを適切に処理できず、ECS インスタンスの通常の動作に影響します。影響には、アプリケーションの読み取り/書き込みパフォーマンスの低下、いくつかの操作の重大なタイムアウト、およびいくつかのオペレーティングシステムのバージョンでは電源切断または再起動の失敗などがあります。
 - 自動リリース時刻を設定した ECS インスタンスは、指定した時刻に自動的にリリースされます。
 - リリース通知: サービスの有効期限切れや料金滞納の発生など、システムによりメールで通知されます。

インスタンスがサービス停止の際のリソースのステータス

1 回の決済期間に従量課金のリソース料金の支払いに 3 回失敗した場合、そのインスタンスは T +15 日にサービスが停止されます。お使いのインスタンスがサービス停止の場合は、料金滞納を解消するまで、リソースを正常に使用できません。支払いが解消されると、指定された期間内に**インスタンスの再有効化**をする必要があります。インスタンスがサービス停止になった場合の、関連するリソースのステータスは、以下の表のようになります。

期間	ECS インスタンスとイメージ	システムディスク + データディスク	インターネット IP アドレス	スナップショット
インスタンスのサービス停止の 15 日以内 (T+15 to T+30)	両方とも機能停止	インスタンスがサービス停止中*である場合、クラウドディスクとローカルディスクの機能は制限されます。ただし、データは保持されます。	<ul style="list-style-type: none"> クラシックネットワークタイプのインスタンスの場合: 割り当てられたインターネット IP アドレスは保持されます。 VPC インスタンスの場合: インターネット IP アドレスが割り当てられている場合、インターネット IP アドレスは保持されます。EIP (Elastic IP) アドレスがインスタンスにバインドされている場合、EIP アドレスは保持されます。 	保持されます。

期間	ECS インスタンスとイメージ	システムディスク + データディスク	インターネット IP アドレス	スナップショット
<p>インスタンスのサービス停止後 15 日 (T+30)</p>	<p>自動的にリリースされます。リソースがリリースされる場合、事前にメールで通知されます。</p>	<p>インスタンスと一緒に個別に作成された、システムディスクおよびデータディスクを含むすべてのクラウドディスク、またはインスタンスへのアタッチの有無を問わず、すべてのクラウドディスクは自動的にリリースされます。データは復旧できません。</p> <p>ローカルディスクは自動的にリリースされ、ローカルディスク上のデータは復旧できません。</p> <p>共有ブロックストレージがインスタンスにアタッチされている場合、自動的にアタッチが解除され、共有ブロックストレージ上のデータは保持されます。</p>	<p>クラシックネットワークタイプのインスタンスの場合: 割り当てられたインターネット IP アドレスはリリースされます。</p> <p>VPC インスタンスの場合: インターネット IP アドレスが割り当てられている場合、インターネット IP アドレスはリリースされます。</p> <p>EIP がインスタンスにバインドされている場合、EIP アドレスは自動的にバインド解除されます。</p>	<p>自動スナップショットは自動的に削除されます。手動で作成されたスナップショットは保持されます。</p>

* 従量課金インスタンスがサービス停止になった場合、インスタンスは**[Expired]** ステータスになります。サービス停止期間中は、料金は請求されません。

よくある質問

従量課金インスタンスがサービス停止、または実行を指定した場合、料金は請求されますか。

料金滞納が発生する場合、インスタンスが機能を停止し、サービス停止状態になります。従量課金インスタンスがサービス停止のとき、**[Expired]** ステータスになり、料金は請求されません。

停止したインスタンスが **[Stopped]** ステータスにあり、[ECS コンソール](#)上で、または[StopInstance](#) インターフェイスを使用して停止されています。停止したインスタンスの課金は、インスタンスのネットワークタイプにより異なります。

- ・ **VPC: 停止済みインスタンスの無課金 (VPC 接続)**機能を有効化できます。この機能を有効化する場合、インスタンスが **[Stopped]** ステータスにあるとき、インスタンスは課金されません。この機能はインスタンスにのみ利用可能で、他のリソースでは利用できません。
- ・ **クラシック:** インスタンスが **[Stopped]** ステータスになった後も、インスタンスは課金され続けます。

5 停止した VPC インスタンスを無課金にする

従量課金インスタンスでは、停止した VPC インスタンスを無課金とする機能を有効化できません。機能を有効化後、VPC インスタンスが停止されると、vCPU、メモリーおよびインターネットアドレスに料金は発生しませんが、クラウドディスクは引き続き課金されます。

定義

停止した VPC インスタンスへの無課金 (VPC 接続) 機能は、従量課金インスタンスが [ECS コンソール](#) 上で、[StopInstance](#) インターフェイス、または [Alibaba Cloud CLI](#) により停止され、**[Stopped]** (Stopped) ステータスの vCPU、メモリー、インターネットアドレスに対して支払う必要がないことを意味しています。ただし、クラウドディスクは引き続き課金されます。

適用性についての説明

- この機能の適用には、以下のような条件があります。言い換えると、以下の条件を満たすリソースでは料金が発生しません。

アイテム	説明
課金方法	従量課金
ネットワークタイプ	VPC
リソース	vCPU、メモリーおよびインターネットアドレス (停止された VPC インスタンスからリリースされたもの)



:

- インスタンスの OS 上でインスタンスを停止した場合、機能を有効にしてもインスタンスへ課金されます。
 - ECS コンソール、API、または Alibaba Cloud CLI からインスタンスを停止した場合、vCPU およびメモリーには課金されません。
- この機能は、以下の条件では適用されません。言い換えると、以下の条件を満たすリソースには課金されます。

アイテム	説明
ローカルディスクインスタンス	ローカルディスクを持つすべてのインスタンス、"d1"、"d1ne"、"gal"、"gn5"、"i1" および "i2" などのインスタンスタイプファミリー。

アイテム	説明
インスタンスに接続されているクラウドディスク (システムディスクおよびデータディスクを含む)、EIP (Elastic IP) アドレス、帯域幅およびイメージ。	この機能を有効化後、インスタンスが [停止した VPC インスタンスへの無課金 (VPC 接続)] モードであっても、これらのリソースへの課金は継続します。課金について詳しくは、「 従量課金 」、「 クラウドディスク料金 」、「 ネットワーク帯域幅への課金 」、「 帯域幅料金 」および「 EIP 料金 」をご参照ください。
起動しているインスタンス	新しい従量課金 VPC インスタンスは、初めての起動時に、[Stopped] ステータス (Stopped) から [Running] ステータス (Running) に変わります。このようなインスタンスを ECS コンソール または CreateInstance API により作成できます。
支払延滞分によりインスタンスは停止されます。	この場合、課金も停止されます。コンピューティングリソースおよびインターネットアドレスもリリースされます。すべてのリソースへの課金は、お使いのインスタンスが正常に「 再有効化 」された後に再開されます。
クラシックネットワークの従量課金インスタンス	このようなインスタンスが [Stopped] ステータスになった後でも、Alibaba Cloud によりインスタンスおよび関連するリソースに課金されます。インスタンスの再起動後、インスタンスのインターネットアドレスおよびプライベート IP アドレスの変更はありません。

影響

この機能を有効化し、インスタンスを停止した際、お使いのインスタンスへの影響は以下になります。

- vCPU およびメモリーはリリースされます。そのため、再びインスタンスを起動することができないことがあります。起動できない場合、しばらくしてから再度起動させます。「[従量課金インスタンスの設定変更](#)」の後、再度起動させることもできます。
- インスタンスに割り当てられたインターネットアドレスがある場合、そのアドレスはリリースされます。[ECS コンソール](#) または [StartInstance](#) インターフェイスを利用し、お使いのインスタンスを起動させた後、お使いのインスタンスには新しいインターネットアドレスが割り当てられます。ただし、プライベート IP アドレスの変更はありません。



注:

インターネットアドレスを変更する場合、「[インターネットアドレスの EIP アドレスへの変更](#)」を行なった後、インスタンスを停止できます。

- ・ "t5" インスタンスが停止した場合、既存の CPU クレジットは有効ですが、クレジットの発生は停止します。起動した場合、CPU クレジットは発生し続けます。詳しくは、「[基本概念](#)」をご参照ください。

「システムディスクの置き換え」([ReplaceSystemDisk](#))、「ディスクのロールバック」([ResetDisk](#))、「ディスクの再初期化」([ReInitDisk](#))などの操作に関しては、インスタンスを停止させ、すぐに再起動する必要があります。お使いのインスタンスが正常に起動したかを確認するために、以下のいずれかの操作ができます。

- ・ ECS コンソールにログインします。[概要] ページ、[全リージョンで停止したインスタンスへの無課金 (VPC 接続)] をオフにします。
- ・ ECS コンソールにログインします。インスタンスを停止させた際、[インスタンスへの課金を維持] チェックボックスをオンにします。
- ・ API または **Alibaba Cloud CLI** を使用している場合、「[StopInstance](#)」インターフェイスで `StoppedMode = KeepCharging` を設定します。

機能の有効化

方法 1: すべてのインスタンスで機能を有効化する

[停止したインスタンスへの無課金 (VPC 接続)] 機能を手動で有効化する必要があります。一度機能を有効化した場合、ご利用のアカウントのすべてのリージョンにある従量課金 VPC インスタンスに適用されます。従量課金 VPC インスタンスを停止させた際、機能を有効にしたまま、従量課金 VPC インスタンスへの課金を維持する場合、インスタンスの停止時に [インスタンスへの課金を維持] チェックボックスをオンにします。



注:

すでに 1 つまたは複数の従量課金 VPC インスタンスを使用している場合、この機能は自動的に有効化されません。この機能により、お使いのシステムやアプリケーションに制御不能となるような影響がないことを、理解し、確認した後、ECS コンソールにログインし機能を有効化します。

以下の手順に従い、[停止したインスタンスへの無課金 (VPC 接続)] 機能を有効化します。

1. [ECS コンソール](#)にログインします。
2. 左側のナビゲーションウィンドウから [概要] をクリックします。
3. [共通操作] エリアから、[設定] をクリックします。
4. [全リージョンでの停止したインスタンスへの無課金 (VPC 接続)] チェックボックスをオンにし、表示されたウィンドウでの注記を読みます。その後、[停止したインスタンスへの無課金 (VPC 接続)] をクリックします。

5. **[OK]** をクリックします。

方法 2: 1 つのインスタンスに対して機能を有効化する

「[1 つのインスタンスの停止](#)」を行なった際、表示されたウィンドウの **[停止したインスタンスへの無課金 (VPC 接続)]** をクリックすることで機能を有効化できます。

機能の無効化

方法 1: すべてのインスタンスに対して機能を無効化



注:

この機能を無効化した後、

- ・ この操作により、ご利用のアカウントのすべてのリージョンのすべての従量課金 VPC インスタンスに対して機能が無効化されます。ご注意の上、進めてください。
- ・ **[Stopped] (Stopped)** にある 1 つのインスタンスに対して、**[ストップモード]** が **[停止したインスタンスへの無課金]** の場合、インスタンスには課金されません。起動後、
 - 停止される前にインターネットアドレスが割り当てられていた場合、新しいアドレスが割り当てられます。
 - インスタンスが停止される前に、**EIP** アドレスが接続解除されてる場合、**EIP** アドレスに変更はありません。

以下の手順に従い、機能を無効化します。

1. [ECS コンソール](#) にログインします。
2. 左側のナビゲーションウィンドウから **[概要]** をクリックします。
3. **[共通操作]** エリアから、**[設定]** をクリックします。
4. **[全リージョンでの停止したインスタンスへの無課金 (VPC 接続)]** チェックボックスをオフにし、表示されたウィンドウでの注記を読みます。その後、**[同意する]** をクリックします。
5. **[OK]** をクリックします。

方法 2: 1 つのインスタンスに対して機能を無効化する。

「[インスタンスの停止](#)」を行なった際、表示されたウィンドウで **[インスタンスへの課金の継続]** チェックボックスをオンにします。

6 インスタンスの更新

6.1 更新の概要

有効期限が切れたサブスクリプションインスタンスを引き続き使用する場合は、所定期間内にインスタンスを更新する必要があります。更新しない場合は、インスタンスとディスクの両方が自動的にリリースされます。保存されたデータは、永久に消去され、復元できません。サブスクリプションインスタンスが有効期限切れの場合に何が起こるかについては、「[サブスクリプション](#)」をご参照ください。



注：

- ・ 支払い済みの更新注文をキャンセルすることはできません。
- ・ 従量課金のインスタンスに更新は含まれません。お使いのクレジットカードに料金を支払える十分な残高があることをご確認ください。

Alibaba Cloud ECS のサブスクリプションは、以下の方法で更新できます。

- ・ **手動更新**
 - インスタンスの設定は、更新時に変更できません。
 - 更新サイクル: 1 か月または 1 年。
- ・ **自動更新** インスタンス作成時、またはインスタンス作成後にインスタンスの自動更新機能を有効化できます。インスタンスは、有効期限が切れる前に自動的に更新されます。
 - インスタンスの設定は、更新時には変更できません。
 - 更新サイクル: その時点でのインスタンスの課金サイクルに応じて更新されます。
- ・ **設定のダウングレードのための更新** インスタンスの更新時、インスタンスおよびその関連リソースの設定をダウングレードできます。ダウングレードされた設定は、次の課金サイクルの開始時に有効になり、これによりコストを削減できます。
 - インスタンス設定は、更新時に変更できます。
 - 更新サイクル: 1 か月または 1 年。

6.2 手動更新

はじめに

手動更新は、サブスクリプション課金方法を使用したインスタンスにのみ適用されます。

お使いのサブスクリプションインスタンスを、**"Expires"** ステータス時またはシャットダウン時に、手動で更新できます。お使いのインスタンスを、**1 か月**または**1 年**に手動で更新できます。そのため、お使いのサブスクリプションインスタンスのサービス期間を変更する場合、手動更新を選択できます。

- ・ お使いのインスタンスが **"Expired"** ステータスのときでも、正常に機能します。インスタンスの有効期限切れの **15 日**以内に手動更新が正常に完了すると、次の課金サイクルの開始はインスタンスの期限が切れる日になります。

たとえば、お使いのインスタンスが **2016 年 4 月 25 日 00:00:00** に有効期限切れになる場合、**1 か月**の更新が **2016 年 5 月 9 日**に正常に行われると、この更新による課金サイクルは **2016 年 4 月 25 日**から **2016 年 5 月 25 日**の **00:00:00** になります。

- ・ 有効期限の **15 日**以内にインスタンスの更新が失敗した場合、インスタンスはシャットダウンされます。
- ・ インスタンスのシャットダウン後、

- お使いのインスタンスはサービスの提供を停止しますが、お使いのデータはさらに **15 日間**保持されます。
- インスタンスのシャットダウンから **15 日**以内 (インスタンスの有効期限の **30 日**以内) にインスタンスが更新される場合、お使いのインスタンスは更新日から新しい課金サイクルに入り、お使いのデータは新しいサイクルでも保持されます。

たとえば、お使いのインスタンスが **2016 年 5 月 10 日 00:00:00** にシャットダウンされ、**2016 年 5 月 23 日 08:09:35** に **1 か月**の更新が正常に行われた場合、更新による課金サイクルは **2016 年 5 月 23 日 08:09:35** から **2016 年 6 月 24 日 00:00:00** となります。

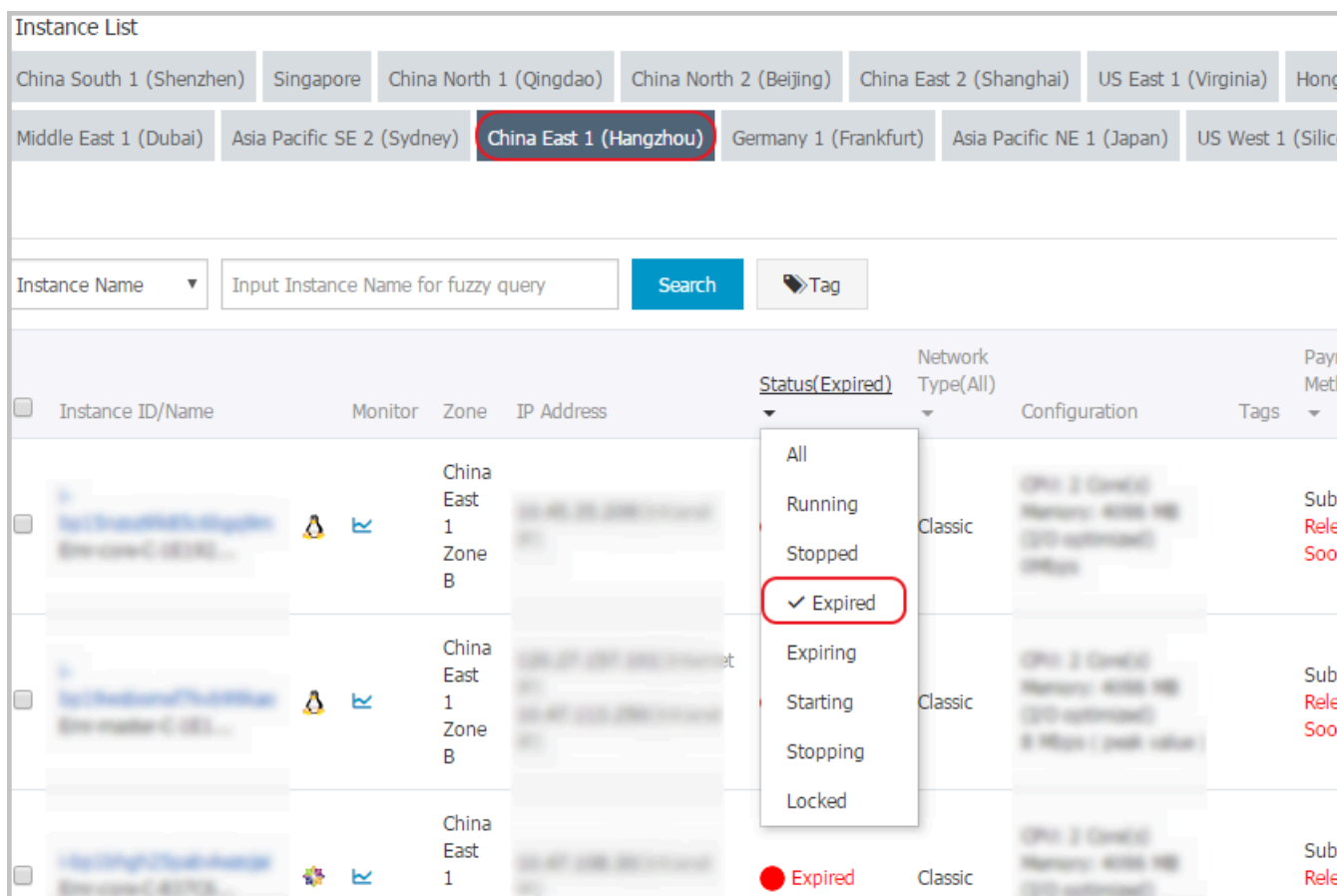
- インスタンスのシャットダウンから **15 日**以内 (インスタンスの有効期限の **30 日**以内) にインスタンスが更新されない場合、お使いのインスタンスは **15 日目**に自動的にリリースされます。お使いのデータは削除され、復元できません。

手順

お使いのインスタンスの手動更新には、以下の手順に従います。

1. [ECS コンソール](#)にログインします。
2. 左側のナビゲーションウィンドウから [インスタンス] をクリックします。
3. インスタンスリストページで、対象となるリージョンを選択し、インスタンス名、インスタンス ID またはステータス (**Expired**) から対象となる ECS インスタンスを検索します。

4. "操作"列から、[更新] をクリックします。



5. 更新ページで、

a. インスタンスの設定を確認します。

b. [1 か月] または [1 年] の希望する更新期間を選択し、[発注] をクリックします。

6. 支払いページで、注文情報を確認し、[支払い] をクリックし更新操作を完了させます。

一括更新

複数のインスタンスの更新には以下の手順を行います。

1. [ECS コンソール](#)にログインします。
2. 左側のナビゲーションウィンドウから [インスタンス] をクリックします。
3. リージョンを選択します。
4. 複数の [サブスクリプション] または [月間サブスクリプション] インスタンスを選択します。
5. ページの下にある、[更新] をクリックします。
6. インスタンスの一括更新ページで、[バッチ変更] をクリックします。更新期間を選択し、[OK] をクリックします。
7. [注文の作成] をクリックし、指示通りに操作を完了させます。

6.3 自動更新

自動更新サービスは、サブスクリプション課金方法を使用したインスタンスにのみ適用されません。

はじめに

自動更新サービスを有効化している場合、**Alibaba Cloud** により、インスタンスの有効期限時にご利用のクレジットカードにサブスクリプション料金が請求されます。

自動更新サービスは、**ECS** インスタンスが購入された後、有効期限前までに有効化できます。サブスクリプションインスタンスの有効期限切れ後に有効化することはできません。自動更新の機能は、以下の通りです。

- ・ 月極めのサブスクリプションサービスは、毎月のサブスクリプションインスタンスの有効期限日に、自動的に月ごとのインスタンスとして更新されます。
- ・ 年間サブスクリプションサービスは、毎年サブスクリプション有効期限日に、自動的に年ごとのインスタンスとして更新されます。



注：

自動更新サービスは、月極めのサブスクリプションと年間サブスクリプションの間の切り替えはサポートしていません。インスタンスのサービス期間を変更する場合は、「**手動更新**」サービスを選択できます。

自動更新サービスを有効化した後、

- ・ お使いのサブスクリプションインスタンスが有効期限に近づくと、有効期限日 (T) の 7 日前、3 日前、および 1 日前に通知されます。
- ・ **Alibaba Cloud** により、有効期限日 (T) にご利用のクレジットカードにサブスクリプション料金が請求されます。支払いが失敗した場合、**Alibaba Cloud** により、7 日目 (T+6) および 15 日目 (T+14) に再度決済が試みられます。3 回すべての支払いの試みが失敗した場合、インスタンスはシャットダウンされます。
 - サブスクリプションへの支払いが正常に行われると、お使いのインスタンスは "**Expired**" ステータスではなくなり、次の課金サイクルが有効期限日から始まります。

たとえば、お使いの月極めのサブスクリプションインスタンスがの有効期限が**2016 年 4 月 25 日 00:00:00** で、自動更新が **2016 年 5 月 9 日** に成功した場合、更新による課金サイクルは **2016 年 4 月 25 日 00:00:01** から **2016 年 5 月 25 日 00:00:00** までとなります。

- 3 回すべての支払いの試みが失敗した場合、有効期限日の **15 日後** にインスタンスはシャットダウンされます。インスタンスがシャットダウンされた場合、インスタンスはサービ

スの提供を停止し、インスタンスへのログインまたはリモートでの接続ができなくなります。この時点では、「**手動更新**」のみ選ぶことができます。インスタンスが有効期限日後**15日**以内に更新されない場合、インスタンスはリリースされ、保存されたデータは失われます。

- 自動更新が試みられる前に手動でインスタンスを更新した場合、お使いのインスタンスは更新され、その時点での課金サイクルの自動更新は行われません。その時点での課金サイクルが終了すると、インスタンスが更新されます。
- 自動更新が失敗するたびに、**Alibaba Cloud** により通知メールがメールアドレスに送信されます。そのため、受信ボックスを頻繁に確認し、必要以上の業務への影響を避けるため、お使いのインスタンスのステータスを把握し、必要な操作を行うことを推奨します。
- ・ **Alibaba Cloud** によるインスタンスの自動更新の決済は、**08:00:00 (UTC+8)** から **18:00:00 (UTC+8)** の間に行われます。

自動更新の有効化

自動更新サービスの有効化には、以下の手順に従います。

1. **ECS コンソール**にログインします。
2. ページのトップで、**[[料金・支払い管理]** > **[サブスクリプション更新]** をクリックします。
3. 左側のナビゲーションウィンドウから **[Elastic Compute Service (ECS)]** をクリックします。
4. 更新ページで、**[手動更新]** タブを選択します。
5. インスタンスを検索し、"操作" 列から、**[自動更新の有効化]** をクリックします。
6. **[自動更新の有効化]** ダイアログボックスで、**[自動更新の有効化]** をクリックします。

[自動更新] タブを選択すると、インスタンスを検索できます。

自動更新の無効化

インスタンスの自動更新サービスの無効化には、以下の手順に従います。

1. **ECS コンソール**にログインします。
2. ページのトップで、**[料金・支払い管理]** > **[サブスクリプション更新]** をクリックします。
3. 左側のナビゲーションウィンドウから **[Elastic Compute Service (ECS)]** をクリックします。
4. 更新ページで、**[手動更新]** タブを選択します。
5. インスタンスを検索し、"操作" 列から、**[自動更新の変更]** をクリックします。
6. **[自動更新の変更]** ダイアログボックスで、**[自動更新の無効化]** を選択し、**[OK]** をクリックします。

[手動更新] タブを選択すると、インスタンスを検索できます。

6.4 設定をダウングレードして更新

サブスクリプションインスタンスの有効期限が切れた後、所定の期間までに更新が完了していない場合、インスタンスは自動的にリリースされます。この場合、データは永久に失われ、復旧できません。サブスクリプションリソースの有効期限切れ後、ステータスの変化の確認には、「[サブスクリプション](#)」をご参照ください。

設定をダウングレードして更新の機能を使用し、サブスクリプションインスタンスを更新する一方で、仕様を下げ、次の課金サイクルでのコストを削減できます。

お使いのデータディスクの課金方法をサブスクリプションから従量課金へ変更することもできます。

注記

"設定をダウングレードして更新" を使用する場合は、次の点にご注意ください。

- ・ この機能により、更新時にインスタンスの仕様のスケールダウンが可能です。
- ・ "設定をダウングレードして更新" 機能はサブスクリプションインスタンスのみに使用できません。
- ・ インスタンスの更新後、次の課金サイクルから新しいパッケージが有効になります。現時点でのパッケージは、その課金サイクルの終了まで継続されます。
- ・ 更新期間中にインスタンスの設定を変更する場合、設定を有効にするには、新しい課金サイクルの開始後7日以内に「[インスタンスの再起動](#)」を行う必要があります。新しい課金サイクルの7日目にインスタンスを再起動すると、最初の6日間は変更前のパッケージを使用したとみなされます。インスタンスの再起動後のみ、ダウングレードされたパッケージが使用されます。
- ・ 設定をダウングレードした更新が完了すると、その時に課金サイクルの残り期間で「[設定のアップグレード](#)」、「[システムディスクサイズの加増](#)」、「[Linux インスタンス](#)」または「[Windows インスタンス](#)」に接続されたサブスクリプションデータディスクサイズの加増は行えません。
- ・ 支払い処理が行われると、更新の注文をキャンセルできません。

手順

更新時にサブスクリプションインスタンスの設定をダウングレードするには、次の手順に従います。

1. [ECS コンソール](#)にログインします。

2. 左側のナビゲーションウィンドウから [インスタンス] をクリックします。
3. リージョンを選択します。
4. サブスクリプションインスタンスを検索します。"操作" 列から、[設定の変更] をクリックします。
5. [設定変更ガイド] ダイアログボックスで、[設定をダウングレードして更新] を選択し、[続行] をクリックします。
6. 設定をダウングレードして更新のページで、必要に応じて次の操作を完了させます。
 - ・ インスタンスタイプをダウングレードします。インスタンスの仕様をダウングレードする場合、インスタンスの再起動時間も設定する必要があります。



注:

- 変更可能なインスタンスの仕様は、ページ上に表示されます。インスタンス仕様について詳しくは、「[インスタンスタイプファミリー](#)」をご参照ください。
- インスタンスの再起動により、インスタンスでお使いの業務操作が停止されます。影響を抑えるために、オフピーク時にインスタンスを再起動してください。再起動は、次の課金サイクルの最初の 7 日以内に完了させる必要があります。ただし、毎週以下の時間帯 (UTC+8) はインスタンスの再起動はできません。火曜正午 12:00 から水曜正午 12:00、および木曜正午 12:00 から金曜正午 12:00。

- ・ サブスクリプションインスタンスの作成時に、データディスクを作成した場合、データディスクの課金方法を従量課金に変更できます。
- ・ 帯域幅の値を設定します。
- ・ 更新期間を設定します。

7. [支払い] をクリックし、指示に従い処理を完了させます。
8. (オプション) インスタンスの仕様を変更した場合、またはクラシックネットワーク上のインスタンスのパブリックネットワーク帯域幅を 0 Mbit/s からゼロ以外の値に初めて変更した場合、次の課金サイクルの最初の 7 日以内に、コンソールまたは [RebootInstance API](#) により、「[インスタンスの再起動](#)」を行う必要があります。この手順は、新しい設定を有効にするために必要です。



注:

VPC インスタンスの場合、インスタンスの再起動は必要はありません。

7 従量課金からサブスクリプションへの課金方法の切り替え

ECS コンソールで、お使いのインスタンスの課金方法を従量課金からサブスクリプションへ切り替えることができます。課金方法の切り替えには料金が発生します。

制限

一度に **20** 個までの従量課金インスタンスをサブスクリプションインスタンスへ切り替えることができます。

前提条件

課金方法を切り替える ECS インスタンスは、以下の要件を満たす必要があります。

- ・ インスタンスタイプは、[第一世代](#)タイプではない
- ・ インスタンスが、ご利用アカウントに属する
- ・ インスタンスのステータスが **"Running"** または **"Stopped"** である

ECS インスタンスが **"Running"** または **"Stopped"** ステータスの際に、課金方法の切り替え注文が正常に行われた場合でも、インスタンスのステータスが変わると、注文の支払いの際に上記の条件を満たさなくなり、注文が失敗し、課金方法が変わりません。インスタンスのステータスが再度 **"Running"** または **"Stopped"** になった場合、課金センターに移動し、注文の支払いができます。

- ・ [インスタンスのリリース時間が設定されていない](#)

インスタンスのリリース時間が設定されている場合、リリース時間の設定を無効化してから、課金方法を切り替える必要があります。

- ・ インスタンスへの未払いの切り替え注文がない

未払いの切り替え注文がある場合、未払い注文をキャンセルしてから、課金方法の切り替えのための注文を行う必要があります。

手順

1. [ECS コンソール](#)にログインします。
2. 左側のナビゲーションウィンドウから [インスタンス] をクリックします。
3. リージョンを選択します。
4. **1** つまたは複数の従量課金インスタンスを選択し、インスタンスリストから [サブスクリプションへの切り替え] をクリックします。

5. サブスクリプションへの切り替えページで、[バッチ変更] をクリックします。
6. ダイアログボックスで、以下の項目を含む [サブスクリプションプラン] を設定します。
 - ・ 期間: サブスクリプションインスタンスのサービス期間の長さを設定できます。1 か月または 1 年です。バッチで実行されるインスタンスは、サービス時間と同じ長さである必要があります。
 - ・ データディスク (オプション): 選択したインスタンスに従量課金データディスクがマウントされるか、接続されている場合、データディスクの課金方法もサブスクリプションへ切り替えるかどうかを設定できます。
7. [OK] をクリックし、注文をした後、支払いページに移動します。

支払いを行なった後、操作が完了します。

よくある質問

注文が失敗した場合はどうすればよいですか?

以下のようなエラーメッセージが表示されます。

- ・ 現在のインスタンスのステータスは切り替えをサポートしていません。
- ・ 切り替えは許可されていません。インスタンスにリリース時間が設定されています。
- ・ 切り替えは許可されていません。インスタンスの情報が変更されています。
- ・ インスタンスの切り替え注文が未払いです。

上記のようなメッセージが表示された場合、インスタンスをメッセージの内容に応じて調整します。

注文の支払い後、課金方法が切り替わるまでどのくらいの時間がかかりますか?

現在、1 個から 20 個の課金方法の切り替えには、1 秒から 4 秒が必要です。切り替え後、コンソール上の課金方法がサブスクリプションに変更されます。

切り替えが失敗した場合はどのようにすればよいですか?

[チケットを起票し、サポートセンターへお問い合わせください。](#)

切り替え後に、帯域幅の課金方法は変更されますか?

変更されません。インスタンスおよびデータディスクの課金方法のみ切り替えできます。

未払いの切り替え注文のある ECS インスタンスの設定をアップグレードした場合、注文は有効ですか?

注文は無効です。インスタンスの課金方法を従量課金からサブスクリプションに切り替えた際、新しい注文が行われます。この新しい注文には支払いが必要です。未払いの注文があるときにイ

インスタンスがアップグレードされた場合、注文の支払いが行われません。これは、インスタンスのコンポーネントが変わり、注文が課金方法の切り替えの要件を満たさなくなるためです。この状態でインスタンスの課金方法の切り替える場合、未払いに注文をキャンセルし、新しい切り替え注文を行う必要があります。

8 インターネット帯域幅の課金

Alibaba Cloud は、ECS インスタンスのインターネット帯域幅の使用に対して従量課金方法 (**PayByTraffic**) のみをサポートしています。**Alibaba Cloud** は、ECS インスタンスの課金方法やネットワークタイプに関係なく、実際のトラフィック使用量に応じて時間単位で料金を計算します。ネットワーク帯域幅の料金は、リージョンによって異なる場合があります。料金設定の詳細については、「[ECS インスタンスの料金](#)」をご参照ください。



注:

Alibaba Cloud は、イントラネットトラフィックに対して料金は請求しません。

インターネット帯域幅のタイプ

次の表に、ECS インスタンスのインターネット帯域幅のタイプと関連情報を示します。

インターネット帯域幅のタイプ	定義	帯域幅制限
アウトバウンド帯域幅	ECS インスタンスが外部アクセスを提供する場合、または FTP クライアントを使用して ECS インスタンスから内部リソースをダウンロードする場合など、ECS インスタンスからのアウトバウンドトラフィックの帯域幅。	<ul style="list-style-type: none"> サブスクリプションインスタンス：最大 200 Mbit/秒 従量課金インスタンス：最大 100 Mbit/秒
インバウンド帯域幅	インターネットから ECS インスタンスにリソースをダウンロードしたり、FTP クライアントを使用して ECS インスタンスにリソースをアップロードしたりする場合の、ECS インスタンスへのインバウンドトラフィックの帯域幅。	最大 200 Mbit/秒

Alibaba Cloud は、アウトバウンドトラフィックの使用に対してのみ料金を請求します。料金は時間単位で計算され、課金単位は **JPY/GiB** です。インスタンスを作成するときに、アウトバウンド帯域幅のピーク値を設定して、トラフィックのバーストによる過剰な料金の発生を回避できます。



注：

同じ LAN 内の ECS インスタンス間のトラフィックには料金はかかりません。

インターネット帯域幅を購入する

異なるインターネットアクセスモードのインターネット帯域幅を購入する場合、さまざまな方法が適用されます。

- ・ **ECS** インスタンスが独自のインターネットアドレスを使用して、インターネットにアクセスする必要がある場合、インスタンスの作成中にインターネット帯域幅を購入する必要があります。

購入方法：[ECS インスタンスの作成中](#)、ネットワーク課金方法で、パブリック IP の割り当てとピーク値を設定します。

- ・ **ECS** インスタンスが VPC ネットワークにあり、**Elastic IP** アドレス (**EIP**) を使用してインターネットにアクセスする場合、**EIP** サービスを購入するだけです。**EIP** サービスの詳細については、「[EIP アドレス関連のドキュメント](#)」をご参照ください。



注：

ECS インスタンスが **EIP** アドレスを使用してインターネットにアクセスする場合、インスタンスの作成時にパブリック IP の割り当てを選択しないでください。

支払いオプション

次の支払いオプションのいずれかを使用して、インターネット帯域幅を支払うことができます。

- ・ アカウントに関連付けられたクレジットカード。
- ・ データ転送プラン。プランを購入して、そこからトラフィック使用量を差し引くことができます。データ転送プランの詳細については、「[ECS スターターパッケージプラン](#)」をご参照ください。

9 リザーブドインスタンスの請求

リザーブドインスタンスは複数の支払い方法をサポートしており、適用される時間レートに従って請求されます。ここでは、リザーブドインスタンスの請求の詳細について説明します。

支払い方法と請求

次の表は、リザーブドインスタンスの支払いオプションと時間レートを示しています。

項目	すべて前払い	一部前払い	前払いなし
適用資格	N/A	N/A	お使いの Alibaba Cloud アカウントは一定のレベルに達している必要があります。
支払方法	購入時に全額支払いが行われ、期間全体にわたって、他の費用や追加の時間レートはかかりません。	購入時に費用の一部を支払う必要があります。また、期間内の1時間ごとのリザーブドインスタンスの時間レートも請求されます。	期間内の1時間ごとのリザーブドインスタンスの時間レートが請求されます。前払いは不要です。
前払い	購入時に差し引かれます。金額は購入ページで選択した仕様により異なります。	購入時に差し引かれます。金額は購入ページで選択した仕様により異なります。	N/A
リザーブドインスタンスの1時間当たりの料金	N/A	1時間ごとに請求され、月ごとに支払われます。購入ページで選択した仕様によって、時間レートが異なります。 発生した手数料が 1,000 米ドルに達すると、 1,000 米ドルが自動的に口座から差し引かれます。 1,000 米ドル未満の金額は毎月の請求に含まれています。	1時間ごとに請求され、月ごとに支払われます。購入ページで選択した仕様によって、時間レートが異なります。 発生した手数料が 1,000 米ドルに達すると、 1,000 米ドルが自動的に口座から差し引かれます。 1,000 米ドル未満の金額は毎月の請求に含まれています。

項目	すべて前払い	一部前払い	前払いなし
通貨	米ドル	米ドル	米ドル

請求ルール

リザーブドインスタンスが正常に購入されると、予約期間の計算が始まります。従量課金インスタンスが一致するかどうかにかかわらず、あらかじめ設定された支払いオプションに従って請求されます。前払いを選択するとコストが削減されます。

返金請求

次の場合に返金を請求できます。

- ・ リザーブドインスタンスの購入、分割、または結合後、あるいはリザーブドインスタンスの範囲を調整した後、インスタンスのリソースが、対象のリージョンまたはゾーンで不足してしまいます。

発生した料金は、請求された払戻から差し引かれます。さらに、払戻手数料 (払戻可能額の 15%) が請求されます。支払い方法として一部前払いを選択し、リザーブドインスタンスの 1 時間当たりの料金で未払い料金がある場合は、払戻を受ける前にそれらの料金を完済する必要があります。



注:

現地通貨でリザーブドインスタンスを購入した場合、返金可能額は現地通貨で返金される前に最新の為替レートで変換されます。

10 サブスクリプション支払いのキャンセルに関する規則

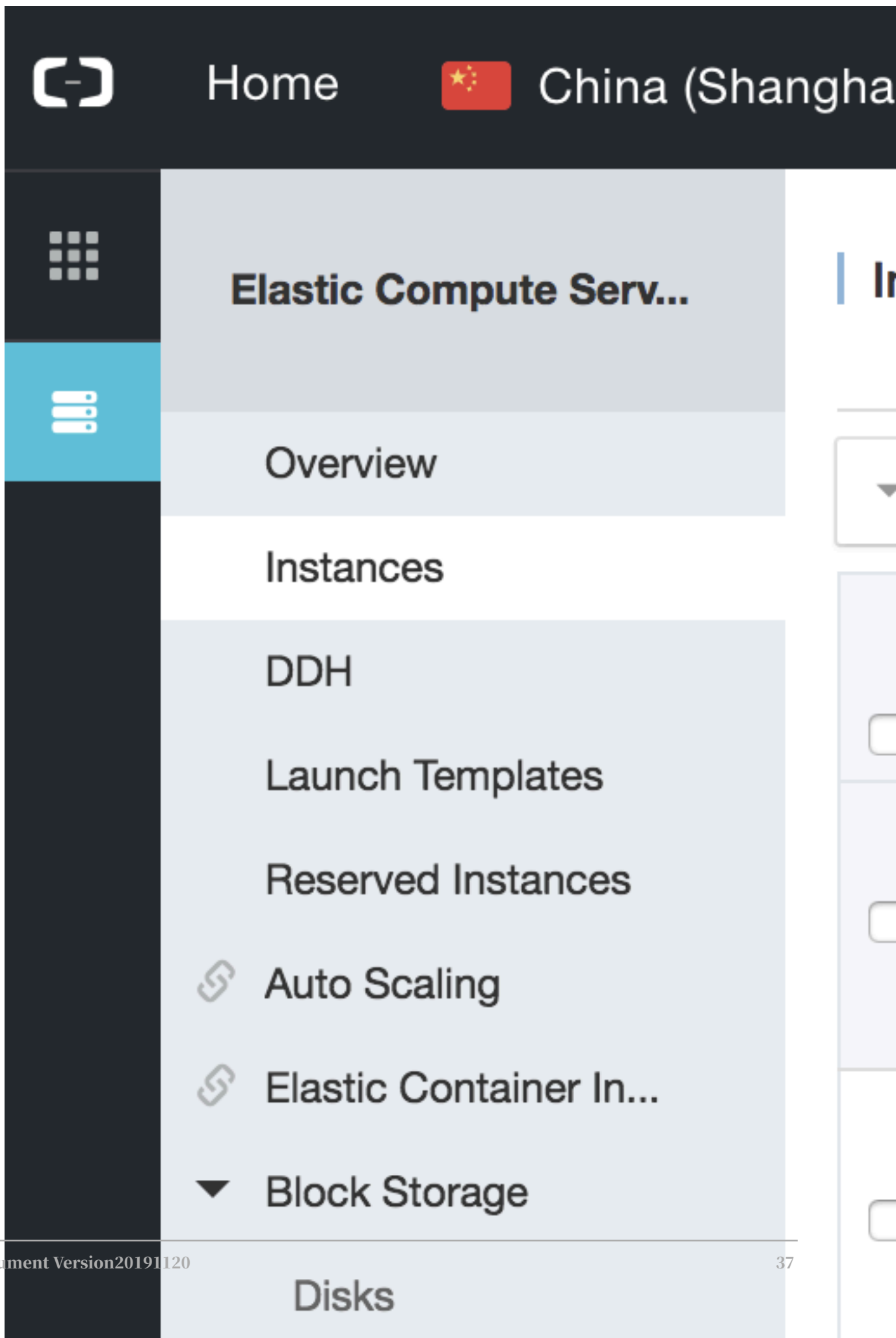
申請方法

サブスクリプションベースのサービスをキャンセルする必要がある場合は、このドキュメントに記載されているポリシーに従って割戻返金を申請することができます。

手順

ECS コンソールから返金を申請することができます。

1. ECS コンソールにログインし、返金を要求する必要があるインスタンスを見つけて、[詳細]、[設定の変更]、[従量課金へ切り替え]の順に選択します。上記の手順により、割戻返金が申請可能になります。この操作により課金方法を従量課金に変更してしまうと、元には戻せません。ご注意ください。
2. インスタンスを使用する必要がなくなった場合は、ECS コンソールでリリースしてください。インスタンスをリリースする前に、データがバックアップされていることを確認してください。



割戻金額計算式

1. 割戻返金総額 = 有効支払総額 (現金およびクレジット残高を含む) - 使用量課金差引

2. 有効支払総額: 現在のサービスに対して行った支払いと、支払対象の注文に含まれる現金およびクレジット残高が含まれます。現金およびクレジット残高は、支払いを行った割合に応じて差し引かれます。

3. 使用量課金差引の計算式:

- サービスの有効化から 12 日に満たない場合: 使用量課金差引 = 月額サブスクリプション料金 / 30 / 24 * 2.5 (1 時間当たりの従量課金額にほぼ等しい) * サービス使用時間数。

- サービスの有効化から 12 日以上、30 日未満の場合: 使用量課金差引 = 月額サブスクリプション料金 / 30 / 24 * 2.5 (1 時間当たりの従量課金額にほぼ等しい) * 12 * 24。これは 12 日分の金額が課される計算となります。

- サービスの有効化から 30 日以上の場合: 使用量課金差引 = 月額サブスクリプション料金日割 * サービス使用日数。月額サブスクリプション料金日割: 月額サブスクリプション料金 / 30。

4. 割戻返金額

割戻返金額は、1. の数式を使用した計算結果と等しくなります。割戻返金に含まれる現金は、お支払いに使用したアカウントに返金されます。使用量課金差引が有効支払総額を超えた場合、返金はされません。未払の料金を支払う必要はありません。